

急成長するアルページュ

PHOTOGRAPH BY SHUNJI SHINE, KAZUO YOSHIDA

アルページュが事業のさらなる強化に向けて、広く人材を募集する。1978年に婦人服の卸販売で事業をスタートし、2003年に「アプライザー・リッシュ」でオリジナルブランドの運営を開始。11年にはTSSIホールディングスにグループ入りし、現在では「ジャスグリッター」と「リランドチュール」「マイストラーダ」を加えた4ブランドと複合業態「アルページュ・ストーリー」を展開している。17年2月期の売上高は前年比6.3%増、営業利益は同25.6%増と、共に過去最高を記録した。営業利益率は2.3ポイント高まり、15%と収益性の高さに磨きがかかっている。

成長続くアルページュの背景に、どのような人材が存在するのか。また、社員の9割以上が女性の中で、どのような労働環境が整えられているのか。業界内で異調企業としてだけでなく、社員の働き方に向き合う企業として注目が集まるアルページュ。桶田俊二社長や役員である野口麻衣子・常務に企業としての姿勢を聞いた。



INTERVIEW

“アパレルは人材が一番。全ての社員の幸せ度を上げたい”

桶田俊二／アルページュ社長



ターゲットを絞った商品開発や女性らしさを追求するデザインへのこだわり、実店舗とECを連動した顧客サービスなどでブランド力を高め、成長してきたアルページュ。同業他社に率先してセール縮小や既存店のスクラップ&ビルドを行い、年間のプロパー消化率90%、シーズン末在庫率は100%前年増収増益を維持している。そうした経営施策を打ち出す中で、桶田俊二社長は、あらためて企業成長とともに社員のワークライフバランスについて考え、「全ての社員の幸せ度ナンバーワン企業にする」ことをスローガンに

掲げた。最近では、社員の労働環境改善や女性活躍支援にも力を入れ、特に出産育児支援制度や全社員対象のワークライフバランスの見直しなどを積極的に実施してきた。出産・育児をする社員には、子どもが満10歳になるまでの育児時短制度、配偶者の転勤などで一時退職した場合でも再雇用する制度などを導入している。今期からは、全社員を対象に120日の年次休暇に加え、5日間の計画有休を取り入れ、勤続5年以上の社員にはリフレッシュ休暇を試験的に実施した。

「アパレルは人材が一番。イキイキと働ける環境を作り、魅力や夢を持てる業界

にしていかなければいけない。アルページュは女性が多いので、産休や育休、時短勤務する社員も増えている。そんなときでも他の社員がカバーし合えるよう体制も強化していきたい。そのためには、なるべく休暇を増やし、残業を減らし、収入報酬を増やすことを重点に、社員一人一人がやりがいを持って仕事に取り組める環境に整える。休暇を増やすことで、海外旅行をしたり、趣味に費やしたりして感性を磨かせ、商品開発などに生かしてほしい」。社内の働く環境の整備とともに、今後さらに飛躍を期するアルページュで一緒に働く新たな人材も募集していく。

の人材に優秀な女性あり

アルページュで働くやりがいや魅力とは？

アルページュ成長の要となっているのは、全社の95%以上を占めている女性社員の存在だ。計260人(前期末)が在籍しており、管理職の80%を女性が占めている。勤務歴10年以上の社員も多く、育児休暇からの復帰率も90%と高い。全4ブランドを統括するディレクターとして、2児の母として、社員のワークライフバランスを考えてきたのが、野口常務だ。アルページュの女性が働く環境作りについて、野口常務に聞くとともに、プレスと企画、ECでそれぞれ活躍する3人の女性社員にアルページュで働くやりがいや魅力聞いた。

2008年に新卒で入社したプレス担当(32歳)は、新卒プログラムの一環として半年間、「アプワイザー・リッシュ」で販売員を経験した後、社内公募で生産管理へ異動し、商品の発注や納期管理、商品の出来上がるまでの工程を半年間学んだ。その後、「アプワイザー・リッシュ」のアシスタントとして、希望だったプレス業を始め、「リランドチュール」や「マイストラダ」の立ち上げメンバーとして、ブランド拡大の一翼を担ってきた。企画や生産チームが作ったアイテムをよりかこよく、よかかわく見せ、お客さまにどう伝えられるか考え、プランニングする。テレビや雑誌で旬なモデルや女優に着用したときは、スタイリストに商品のポイントや小物の提案もします。その後、着用アイテムの問い合わせがあったり、販売にまでつながったりするとプレス冥利に尽きると感じる。新卒



**連携をとりやすい
チームワーク力は、
アルページュの
強みの一つ**

「マイストラダ」プレス担当

入社から9年。複数のブランド立ち上げに携わってきた経験から、企画や生産、販売などの各担当とのチーム連携も強めてきたことで、プレスとしての幅広い経験も深めてきた。「アルページュは若手にもチャレンジする機会を与えてくれるので、私自身も積極的にアイ

デアを言える環境で、チームともうまく連携がとれるようになった。チームワーク力は、アルページュの強みの一つだと思う」と語る。彼女のモットーは「安協しないこと」「これからも常に前向きな姿勢で、ハッピーに仕事をこなしていきたい」。

昨年アルページュに入社した企画アシスタント(26歳)は、アパレル企業の販売員やサイト制作を経て、未経験者募集枠を知り応募した。学生時に服飾学校に通い、デザイナーとしての夢を持つつも、他社に入社。キャリアを積めずいたが、未経験者の募集枠を知り、応募した。「アパレル企業のデザイナーとしての夢を持っていたが、デザインの知識があっても、未経験の壁があり、なかなか挑戦できずにい

“社員のプライベートも一緒に育てられる企業が理想”

野口麻衣子 / アルページュ常務

アルページュに女性社員が多い理由は、憧れのファッションブランドを手掛けているからだけではない。社員のワークライフバランスに向き合った同社での働き方や環境作りがある。ファッション業界に対して、夢や志を持った20代、戦力として共に成長していきたい30代、業界全体の動向を見つめてきた40代の各世代でキャリアを積む女性社員が多層的に存在している。最近では新卒入社に加え、未経験者の中途採用も増やしている。「中途採用でも未経験者は歓迎。新卒同様、ファッションが好きという気持ちや話題のスポットや食べ物などのトレンドに敏感なことが大事。そうしたミスマッチはこの業界でもとても重要とされている」。創業から新入社員を採用していることもあり、未経験者を育成する体制が整っている。「新しい職場に慣れるのに半年はかかってしまう。とにかく声を掛けてチームワークを養うが、「どうしてこんなに情報共有をしなればいけないのか」と思う中途社員もいる。それほど他社は仕事を自分で抱えているんだと思うが、われわれはとて重要と考えている」。

育休明けの社員は「仕事を辞めたい」「赤ちゃんのために休んであげなきゃ」という女性特有の責任感が芽生えるもの。あえて、家から出ることで、仕事を通して安心感と興奮や刺激を与えてあげたいと思った。そのためにもチームワークや社内環境を考えている。

今期からは全社員を対象に5日間の計画有休を実施し、社員の仕事に対する発想力やモチベーションアップを図る。「例えば、オフシーズンを利用した海外旅行などで、現地のアートやファッション、カルチャーを直接見て感じ、フレッシュな発想をもっと身に付けてほしいと思う。理想は社員のプライベートも一緒に育てられる企業。そのためには会社として、社員が楽しんで仕事ができ、自分から「やりたい」と積極的に考えられる環境を整えていきたい。また、ママ社員含め、アルページュでチャレンジできることを増やし、自身の可能性も広げてほしい」。



た。得意だったイラストを生かし、好きなブランド、ファッションでやりたいことをアピールした。この熱意が伝わり、採用に至ったという。

アルページュは外部講師によるトレンドセミナー受講や部署ごとによる講習、テキスタイルの展示会に行くなどを定期的に行い、社員の知識を増やし、他業務も兼務することで、幅広い経験を積み、社員の仕事の実力アップを図ってきた。企画アシスタントはMDやVMDを兼務し、デザインの案出しから商品作り、店舗に並べるまでを考えた。「企画は7回ある展示会までに絵型を出して、生地を選んで、修正して……これを繰り返しながら商品製作するが、1週間でサンプルを作ることもあれば、スピード勝負でもある。店舗からの声を聞くこともアイデアにつながる。過去に期中で企画した刺繍の商品は、ウェブでの反響が良くてうれしかった。仕事は大変だけど、すごくやりがいを感じている」と話す。休日は「早くチームに追い付きたい」とリサーチに費やすほど仕事に対して意欲的だ。「企画のチームは、先輩を中心に仕事に対する責任感や夢を持っていて、私も一緒に同じ方向に向かっていられることがすごくうれしい。未経験でも、今ではいろいろと任せられるようになり、私自身も「やらせてほしい」という意欲が出来るようになった。これからの環境で成長していきたい」。

**未経験でもチームが
助けてくれた。
これからの環境で
成長したい**

「マイストラダ」企画アシスタント

時はまだブランドの認知度が高くなかったもので、私自身もいろいろなことにチャレンジしてみようという意欲が持てたと振り返る。現在は、どんな商品がどの時期に売れるかなど、店舗で培ったノウハウや顧客・販売員の声などを、商品開発に生かしたり、ECで人気の先行予約商品を実店舗での販売につなげたり、EC事業活性を促進している。産休後、フルタイムでの本社勤務に復帰し、デジタルの新しい分野に配属



**支えてくれる
仲間がいるから
自分自身も成長できる**

ネット事業部営業リーダー

10年以上の販売職を経て、一昨年本社に産休復帰したネット事業部営業リーダー(33歳)は、1児の母でもある。2004年の新卒入社後、10カ月で「アプワイザー・リッシュ」の店舗責任者に抜擢された。「入社1年足らずで店舗責任者に就き、その後新店舗の店長に配属されるなど、あまり経験がなくても「やらせてみよう」とチャンスを与えてくれる会社の考えがあったので、戸惑いながらも引き受けたことを覚えている。当



になったが、「チームの皆がとても協力的で助かっている。産休後、販売員から本社勤務で復帰する先輩も多く、私自身も不安はなかった」と振り返る。アルページュに入社して良かったと思うことは、「仲間がいること。友達といえなくても、お互い意見もアドバイスも合える。そのおかげで、とても充実した働き方ができている。支え合える仲間がいる職場環境だからこそ、成果も出しやすいし、自身の成長につながると思う。仲間と一緒に、さらにEC事業を大きくするために、チャレンジ精神を持ち続けていきたい」。